

消化器外科レジデント研修教育プログラム

指導医 江原 一尚

1. 専門課程前期研修（3年コースの1年目ローテーション）

- 1) 消化器悪性腫瘍の症状・他覚所見・検査値・諸検査法に関する基礎知識、とくに各疾患の診断と治療・予後についての理解
 - ①上部消化管悪性腫瘍（食道癌・食道胃接合部癌・胃癌）
 - ②肝胆膵系悪性腫瘍（原発性肝癌・転移性肝癌・胆管癌・胆嚢癌・膵癌・十二指腸癌）
 - ③下部消化管悪性腫瘍（小腸癌・大腸癌・直腸肛門癌）
 - ④GIST・後腹膜腫瘍などの間葉系腫瘍
- 2) 消化器腫瘍の基礎的診断法・治療技術の習得
 - ①一般的診察法（問診・視触診）
 - ②画像診断法（消化管バリウム造影・消化管内視鏡・腹部エコー、CT、MRI、など）
 - ③基本的小手術手技（中心静脈カテーテル挿入・経皮的ドレナージなど）
 - ④治療的診断法（画像診断およびイレウス管挿入など）
- 3) 消化器腫瘍の集学的治療法の実際についての研修
 - ①消化器腫瘍の治療の適応と計画法
 - ②消化器腫瘍の手術の術者と介助
 - ③消化器腫瘍の術前術後の放射線・化学療法 of 適応と計画法
- 4) 再発癌に対する一般的治療法の習得

2. 各科ローテーション（希望者のみ）

- 1) 放射線診断科における消化管造影、CTAP、血管造影、PTCD、PEIT、RFAなど
- 2) 病理診断科における消化器癌の病理学的診断
- 3) 消化器内科における抗がん剤治療
- 4) 消化器内科における内視鏡・EUS診断・内視鏡的治療（EUS、ESD、ERBD）
- 5) 放射線治療科における消化器癌（食道癌・直腸癌など）の放射線治療
- 6) 緩和ケア科におけるがん疼痛を始めとする癌患者の全人的ケア
- 7) 胸部外科における肺癌・縦隔腫瘍の手術（開胸・胸腔鏡・ロボット手術）など
- 8) 婦人科における子宮卵巣腫瘍の手術手技・内診法など
- 9) 泌尿器科における腎・尿管・膀胱腫瘍の手術・TUR・腎瘻造設など
- 10) 腫瘍診断・予防科における癌遺伝子の取り扱い、遺伝カウンセリング

3. 専門課程後期研修（1年・2年コースおよび3年コースの2年目以降）

- 1) 消化器悪性腫瘍診断・治療法の実践
 - ①悪性腫瘍手術（開胸・開腹手術）と術前・術後管理（呼吸管理・保液と栄養管理）
 - ②腹腔鏡・胸腔鏡による悪性腫瘍手術と術前・術後管理
 - ③手術支援ロボットによる悪性腫瘍手術と術前・術後管理
 - ④緊急手術における術前・術後管理
 - ⑤放射線特殊診断・治療法（血管造影、PTCD、PEIT、RFAなど）の評価

- ⑥内視鏡特殊診断・治療法（ESD、EUS、ERBD など）の評価
 - ⑦手術ビデオの編集とビデオ見直しによる安全な手術のための研修
 - ⑧専門医取得のための学会活動研修（データ整理・スライド作成などの発表準備）
 - ⑨食道外科認定医・肝胆膵外科高度技能医・内視鏡外科技術認定医取得のための研修
 - ⑩手術支援ロボットによる院内および学会認定専門医取得のための研修
- 2) 消化器腫瘍の集学的治療法の実践
- ①消化器腫瘍の集学的治療（診断、計画、治療手技、評価）の実践
 - ②「インフォームド・コンセント」の概念の理解と術前説明の実施
 - ③再発癌に対する手術療法・放射線・化学療法の計画と実施
- 3) がん疼痛治療法の実践

消化器外科のローテーション例（3年コースを選択した場合）

	4月－6月	7月－9月	10月－12月	1月－3月
1年目	食道外科	胃外科	大腸外科	肝胆膵外科
2年目	4月－3月			
	選択			
3年目	4月－3月			
	選択			
4年目	4月－3月			
	3年コース選択者のみ			

消化器外科レジデントの研修プログラムでは希望に応じて1年コース、2年コース、3年コースを準備しています。1年コースと2年コースの場合は希望科の専門研修となります。3年コースの場合は、1年目に食道外科、胃外科、下腸外科、肝胆膵外科の4領域をローテーションした上で、2年次以降は希望科の専門研修となります（希望によりローテーションも可能）。また3年コースを選択した場合のみ、4年目までの研修延長が可能です。消化器外科専門医を取得するための必須主要手術（中難易度および高難易度）や腹腔鏡手術（技術認定医資格）を経験することが可能です。